

令和5年3月吉日
船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 菅野 茂男
学校関係者評価委員会事務局

令和4年度 学校関係者評価委員会の報告を受けて
次年度（令和5年度）に向けた改善方策

1 学習指導について

- (1) 学習指導要領と世田谷区教育要領に則り、「世田谷探求的な学び」を取り入れ、生徒が多様な学びを共有しその個性と能力を発揮できるよう学習改善を進める。
- (2) 学習タブレットの活用など、各教科や様々な教育活動で教育DXを推進し、学ぶ意欲の向上や学びに向かう力の育成に努め、情報活用能力や問題発見・解決能力、諸課題に求められる資質の更なる向上を目指す。
- (2) 学舎で研究・実践を重ねてきたNIEや演劇的手法を、授業等で計画的に実践し、生徒の学習力の向上につなげる。
- (3) ユネスコスクール加盟校として、教育・文化・科学・コミュニケーションの分野で世界に視野を広げ、グローバルシチズンシップを育み、持続可能な開発を促進するため必要な知識および技能を習得させる。

2 豊かな人間関係づくりと進路指導（キャリア教育）

- (1) 様々な活動を通して、自己をいかす集団活動や体験活動をさらに充実させ、人権尊重、豊かな情操や感性、規範意識、自己有用感や主体性の育成など、社会の一員としての自覚と豊かな人間性を育てる教育の充実を進める。
- (2) 不登校傾向の生徒や集団生活になじめない生徒への対応については、スクールカウンセラーや関係機関、学舎の小学校等と連携して組織的に行う。また、教室環境の整備、学校行事の充実により、自己有用感が実感でき、精神的な満足感が得られる学校・学級づくりを推進することで、不登校の未然防止につなげる。
- (3) 学舎小学校と連携した「キャリア・パスポート」の工夫と活用を進める。また、日常の学習活動と自己肯定感や自己有用感を高めるキャリア教育とが密接に関連していることをキャリア通信などで伝え、将来に自信をもって生きる力の育成を図る。
- (4) キャリア・未来デザインカタログを参考に、職業講話や職場体験、上級学校訪問やビジネスマナー講座などを計画的に実施し、自己形成能力を育成する体験的学習を通して主体的に学ぶ態度の育成を図る。

3 特色ある教育活動について

- (1) 本校の特色であるNIEについて、肯定的評価が一昨年から約2割以上肯定的評価が上昇したことを受け、全校一斉の月1回のNIEタイム、各クラスの毎日の学級活動でのNIE、そして各教科、特別の教科道徳でのNIEの一層の推進を図る。
- (2) 地域の評価が高い「あいさつ運動」について、学舎における生徒主体の取り組みに加え、校内や校外での日常のあいさつをキャリア教育と関連づけて生徒に捉えさせ、自信をもって世の中で生きていく指針となれるよう価値付けを行っていく。